

第一回の放出を予定している全ての ALPS 処理水に含まれる 68 種類の核種を調べ、全て問題ないことを確認

2023 年 6 月 27 日 在香港日本国総領事館

6 月 22 日、東京電力は、第一回の放出を予定している全ての ALPS 処理水（参考 1）（タンク 10 機分）の分析結果を公表しました（リンク参照）。測定・評価対象 29 核種（参考 2）、自主検査対象核種 39 種類（参考 3）を分析し、68 核種が全て問題ないことを確認しました。この ALPS 処理水を更に 100 倍以上に希釈してトリチウムの放出基準も満たした後、海洋放出することになります（参考 4）。

#### 【ポイント】

- ・ 測定・評価対象核種（29 核種。IAEA レビューを踏まえ、東京電力が選定し、原子力規制委員会が認可したもの）：告示濃度比総和（参考 5）「0.28」（1 未満を確認）
- ・ 自主検査対象核種（39 核種）：全ての核種で問題なし
- ・ 第三者機関（株式会社化研：茨城県水戸市）の測定・評価対象 29 核種、自主検査対象 39 種類の測定結果も同様。
- ・ 日本政府の ALPS 処理水の処分に関する基本方針に基づき、日本原子力研究開発機構（福島県大熊町）も分析を実施し、同様の結果。（測定・評価対象核種 29 核種、自主検査対象核種 39 種類を測定）（参考 6）

#### 【リンク】

（日本語）福島第一原子力発電所 測定・確認用設備から採取した ALPS 処理水の分析結果について（東京電力ホールディングス株式会社、福島第一廃炉推進カンパニー）

[https://www.tepco.co.jp/decommission/information/newsrelease/reference/pdf/2023/1h/rf\\_20230622\\_1.pdf](https://www.tepco.co.jp/decommission/information/newsrelease/reference/pdf/2023/1h/rf_20230622_1.pdf)

（英語）Analysis Results of ALPS Treated Water Sampled from the Measurement/Confirmation Facility at the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station (TEPCO Holdings, Fukushima Daiichi D&D Engineering Company)

[https://www.tepco.co.jp/en/hd/decommission/information/newsrelease/reference/pdf/2023/reference\\_20230622\\_01-e.pdf](https://www.tepco.co.jp/en/hd/decommission/information/newsrelease/reference/pdf/2023/reference_20230622_01-e.pdf)

(参考1)

「トリチウム以外の核種について、環境放出の際の規制基準を満たす水」のみを「ALPS 処理水」と呼称します。

(日本語) 東京電力福島第一原子力発電所における ALPS 処理水の定義を変更しました (経済産業省) <https://www.meti.go.jp/press/2021/04/20210413001/20210413001.html>

(英語) Change to the Definition of ALPS Treated Water at TEPCO's Fukushima Daiichi Nuclear Power Station (Ministry of Economy, Trade and Industry)  
[https://www.meti.go.jp/english/press/2021/0413\\_004.html](https://www.meti.go.jp/english/press/2021/0413_004.html)

(参考2)

IAEA レビューを踏まえ、東京電力が選定し、原子力規制委員会が認可した測定・評価対象 29 核種 (トリチウムを含まない) を指します。

(参考3)

東京電力が自主的に検査する核種 39 種類を指します。

(参考4)

東京電力では、69 種類の放射性物質の濃度を毎回 (全てのタンク群 (1 群 = タンク 10 機) を) 測定・評価し、トリチウム以外の放射性物質について規制基準を満たすことが確認できたものだけを、トリチウム濃度が 1500Bq/L 未満となるよう 100 倍以上に希釈をしたうえで放出します。東京電力と化研の測定結果は、東京電力のホームページで公開します。

詳細結果：

測定・確認用設備の状況

<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/measurementfacility/>

(参考5)

水中における告示濃度限度とは、放出口における濃度の水を、生まれてから 70 歳になるまで毎日約 2 リットル飲み続けた場合に、ある一つの核種について平均の線量率が 1 年あたり 1 ミリシーベルトに達する濃度のことを言います。液体・気体廃棄物に含まれる複数の核種それぞれの

濃度を、それぞれの核種についての告示濃度限度で割った値の合計値のことを告示濃度比総和といいます。この値が1未満であれば、放射性物質の放出基準を満たしているとされます。（告知濃度比総和について：（環境省）<https://www.env.go.jp/content/900544139.pdf>）

（参考6）

日本原子力研究開発機構では、日本政府のALPS処理水の処分に関する基本方針に基づき、第三者機関として、東京電力が放出前に測定するタンクの水について、69種類の放射性物質の濃度を毎回（全てのタンクを）測定・評価します。